

飛騨農林事務所の普及活動状況（令和7年8月末現在）

今月の重点活動

■水稲 採種ほ場の審査を実施

丹生川採種組合は飛騨を代表する水稲品種の「たかやまもち」「ひだほまれ」をはじめ、県奨励品種の「ひとめぼれ」「はなの舞」「コシヒカリ」の5つの品種の種子を生産し、県内生産者に供給している。

農業普及課は、良質な種子供給のため、8月上旬から下旬にかけて、JAの営農指導員や採種組合の役員らの協力のもと、異品種や雑草、病虫害被害等の有無については場審査を実施した。

農業普及課では、今後、生産物審査として発芽試験等を実施し、優良な種子生産及び供給を支援していく予定である。



【ほ場審査を行う審査員】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■メロン 第41回飛騨メロン共進会が開催される

8月1日、飛騨メロン生産者の規模拡大及び栽培技術の向上を目的として、第41回飛騨メロン共進会が開催された。本年度は11名の生産者から出品があり、審査員5名により、食味やネットの美しさ、全体のバランス等について審査が行われた。

審査委員長からは、「いずれも逸品揃いで、審査が大変難しかった」との講評があり、生産者の栽培技術の高さがうかがえた。

農業普及課では、今後もメロンの栽培技術や、環境に配慮した防除体系等について情報を提供するとともに、生産者と協力し、飛騨メロンの品質の維持・向上を目指して支援を行っていく。



【本審査の事前説明の様子】



【表彰式の様子】